

基本情報

所属	現代ビジネス 学部 国際社会学科	氏名	日高俊夫 Hidaka Toshio
職名	准教授	E-mail	t-hidaka@cb.kiu.ac.jp
		研究者ウェブサイト	

■ 学歴・取得学位

1992(平成4)年3月	佐賀大学教育学部中学校教員養成課程英語科専攻 卒業 教育学士
1999(平成11)年3月	関西学院大学大学院文学研究科博士課程前期課程 修了 修士(文学)
2012(平成24)年3月	神戸松蔭女子学院大学大学院博士課程言語科学専攻 修了 博士(言語科学)

■ 主な職歴

1992(平成4)年4月	佐賀県立高等学校教諭(武雄高校・佐賀東高校)
2004(平成16)年4月	近畿大学非常勤講師
2004(平成16)年4月	摂南大学非常勤講師
2014(平成26)年4月	九州国際大学准教授
2019(平成31)年4月	九州国際大学教授(現在に至る)

教育活動

■ 主な担当授業科目

○ 学部：英語学概論、英文法論
○ 大学院：

■ 教育上の特記事項

○ 教科書・教材：
○ 教育活動：
○ 免許・資格：博士(言語科学)

研究活動

■ 研究分野

研究分野	言語学(語彙意味論、意味論、統語論、韻律構造)
主な研究テーマ	複雑述語の意味と統語、佐賀方言における疑問文
キーワード	Lexical Semantics, Syntax, Complex Predicates, Saga Diarect

■ 主な著書・論文等

著書

- 『最新 英語学・言語学用語辞典』(共著) 開拓社 2015年11月 全536頁(執筆項目:14項目)
- 『Science Frontiers』(共著) Cengage Learning. 2016年3月 全103項

論文

- 「Give a ~の意味構造と生成過程」(単著) 関西学院大学英米文学会『英米文学』51-2 2007年3月 PP.47-61(査読あり)
- "The word formation of so-called "zero-derivational" deverbal nominals: meaning, lexical semantic structure, and argument structure". (単著) 摂南大学『摂大人文学』15 2007年9月 PP.77-92(査読あり)
- *Word formation of Japanese V-V compounds.* (博士学位論文) 神戸松蔭女子学院大学 2012年3月
- 「語彙的複合動詞における反使役化と脱使役化」単著 近畿大学教養・外国語教育センター『近畿大学教養・外国語教育センター紀要 外国語編』2-2 2012年3月 PP.115-130(査読あり)
- 「日本語動詞における使役起動交替のメカニズムー自動詞化を中心に」(単著) 関西言語学会『KLS Proceedings』32 2012年6月 PP.230-242(査読あり)
- 「Wh- 構文の解釈と韻律構造ー佐賀方言と東京方言の対照」(共著) 神戸松蔭言語科学研究所『TALKS』16 2013年3月 PP.99-115(査読あり)
- 「語彙的複合動詞における他動詞化・再帰化」(単著) 近畿大学教養・外国語教育センター『近畿大学教養・外国語教育センター紀要 外国語編』3-2 2013年3月 PP.81-96(査読あり)
- 「佐賀方言における疑問標識「こっちゃい」に関する覚え書き」(単著) 大学共同利用機関法人 人間文化機構 国立国語研究所「日本語疑問文の通時的・対照言語学的研究」研究報告書(1) 2014年3月 PP.79-92.(査読なし)
- 「V ユクの統語構造と意味構造」(共著) 関西言語学会『KLS Proceedings』34 2014年6月 PP.1-12.(査読あり)
- 「佐賀方言の疑問助詞と介入効果についての記述」(単著) 大学共同利用機

関法人 人間文化機構 国立国語研究所「日本語疑問文の通時的・対照言語学的研究」研究報告書(2) 2015年3月 PP.29-40. (査読なし)

- On syntax and construal of *V-kake* constructions. 神戸松蔭言語科学研究所『TALKS』18 2015年3月 PP.1-12. (査読あり)
- 「形容詞的用法」不定詞の統語と意味解釈について」(単著)『九州国際大学 国際関係学論集』10-1,2. 2015年3月 PP.103-122. (査読なし)
- 「来る」の文法化についてー「V(て)来る」のアスペクト用法」(単著)関西言語学会『KLS Proceedings』35 2015年6月 PP.229-240. (査読あり)
- 「複合動詞「V-切る」における意味合成」(単著)『九州国際大学 国際関係学論集』10-1,2. 2016年3月 PP.1-22. (査読なし)
- 「V テイクの再分析に関する統語論的考察」(共著)『KLS Proceedings』36 2016年6月 PP.1-12. (査読あり)
- A Formal Analysis of Japanese *V-yuku* and its Grammaticalization. (共著) *Japanese/Korean Linguistics 23*. CSLI Publications. 2016年8月
- 「韻律と情報構造から見た介入効果-佐賀方言と東京方言の対照より-」(単著)『国際関係学論集』12:1,2. 2017年3月 PP.10-29. (査読なし)
- 「統語的複合動詞「V-切る」における意味構造と統語」(単著)『KLS Proceedings』37 2017年6月 PP.169-180. (査読あり)
- Ambiguous Syntactic *V-kake* Compounds. (共著)『KLS Proceedings』37 2017年6月 PP.157-168. (査読あり)
- 「V テイク・V テクルの多義性と統語」神戸松蔭言語科学研究所『TALKS』21 2018年3月 PP.23-40. (査読あり)
- 「V テ V における再分析-複合動詞との統一的分析に向けての覚え書き-」(単著)『国際・経済論集』2 2028年6月 PP.17-38. (査読なし)
-

学会発表

- 「日本語の語彙的複合動詞の語形成過程」(単独)Morphology & Lexicon Forum 2008年7月 於：神戸大学
- 「日本語の語彙的複合動詞の語形成ー特質構造における語形成」(単独)日本言語学会第140回大会 2010年6月 於：筑波大学

- 「語彙的複合動詞の自他交替-V1 と項の意味的役割」(単独) 日本語文法学会第 11 回大会 2010 年 11 月 於: 就実大学
- 「Wh- 構文の解釈と韻律構造-佐賀方言と東京方言の対照より」(共同) 日本言語学会第 141 回大会 2010 年 11 月 於: 東北大学
- 「日本語動詞における使役起動交替のメカニズム-自動詞化を中心に」(単独) 関西言語学会第 36 回大会 2011 年 6 月 於: 大阪府立大学
- 「語彙的複合動詞における使役起動交替」(単独) 日本言語学会第 144 回大会 2012 年 6 月 於: 東京外国語大学
- 「日本語における述部の意味構造と使役起動交替」(単独) 国語研国際シンポジウム「日本語の自他と項交替」2012 年 8 月 於: 国立国語研究所
- 「「Vテイク」の意味と派生について」(共同) 日本言語学会第 145 回大会 2012 年 11 月 於: 九州大学
- 「「自己」動詞構文の構造と意味-再帰性と分離不可能所有構文」(共同) 日本言語学会第 145 回大会 2012 年 11 月 於: 九州大学
- 「V ュクの統語構造と意味構造」(共同) 関西言語学会第 38 回大会 2013 年 6 月 於: 同志社大学
- 「語彙的複合動詞の自他交替-他動詞化・再帰化を中心に」(単独) 日本言語学会第 146 回大会 2013 年 6 月 於: 茨城大学
- A Formal Analysis of Japanese *V-yuku* and its Grammaticalization. (共同) *Japanese/Korean Linguistics* 23. 2013 年 10 月 於: MIT
- 「「来る」の文法化について-「V(て)来る」のアスペクト用法」(単独) 関西言語学会第 39 回大会 2014 年 6 月 於: 大阪大学
- 「間接疑問文と「補文性」-佐賀方言の疑問標識を例に」(単独) 日本言語学会第 148 回大会 2014 年 6 月 於: 法政大学
- 「統語的アスペクト補助動詞「-かけ」の意味機能」(共同) 言語処理学会 第 21 回年次大会 2015 年 3 月 於: 京都大学
- 「V テイクの再分析に関する統語論的考察」(共同) 関西言語学会第 40 回大会 2015 年 6 月 於: 神戸大学
- 「文法化における論理的意味と非論理的意味-「行く」「来る」の文法化を例に」(共同) 日本言語学会第 150 回大会 2015 年 6 月 於: 大東文化大学

- 「統語的アスペクト補助動詞が主観性を帯びるとき」(共同) 言語処理学会第 22 回年次大会 2016 年 3 月 於: 東北大学
- 「韻律と情報構造、介入効果 -佐賀方言と東京方言の対照より-」(単独) 日本言語学会第 152 回大会 2016 年 6 月 於: 慶應義塾大学
- 「統語的複合語「V-かける」の二義性について」(共同) 関西言語学会第 41 回大会 2016 年 6 月 於: 龍谷大学
- 「統語的複合動詞「V-切る」における意味構造と統語」(単独) 関西言語学会第 41 回大会 2016 年 6 月 於: 龍谷大学
- 「英語の-en 接辞動詞化に関する意味的考察」(共同) 関西言語学会第 42 回大会 2017 年 6 月 於: 京都大学
- 「V テイク・V テクルにおける多義性と再分析」(単独) 日本言語学会第 155 回大会 2017 年 11 月 於: 立命館大学
- 「複雑述語における命題と推意-開始を表す表現について-」(単独) 日本言語学会第 157 回大会 2018 年 6 月 於: 東京大学
- 「所有を表す have got における発話行為性」(共同) 日本言語学会第 157 回大会 2018 年 11 月 於: 京都大学

その他

- 近畿大学生物理工学部 「B. O. S. T. WORDS-専門英語の手引き」(共著) 2010 年 3 月

■ 大学就任以前の主な業務上の実績

--	--

■ 主な所属学会

日本言語学会、日本英語学会、関西言語学会

■ 受賞等

	特になし
--	------

■ 研究助成金による研究

日本学術振興会 科学研究費助成事業(科研費) 課題番号 16K02652 「動詞の多義性と文法化の理論的記述・分析-命題的意味、非命題的意味、視点的意味-」 2016 年度~2019 年度(予定) 研究分野: 言語学 研究種目: 基盤研究(C)
--

社会における活動等

大学運営活動等

2014年度－2015年度	図書委員
2015年度	学術成果リポジトリ運営委員
2016年度	就職対策委員、教職・図書館学課程委員
2017年度	学生サービス委員、国際社会学科英語コース主任
2018年度	現代ビジネス学部副学部長、教務委員、 国際社会学科英語コース主任
2019年度	現代ビジネス学部副学部長、教務委員